

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	介護相談員派遣事業	所管	保健福祉部 介護保険課
			TEL 2998-9420

事業の目的 (何の為に 行うか)	施設サービス利用の現場での苦情や問題を未然に防止するとともに、同サービスの品質の確保と向上を図る。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内介護保険施設(特別養護老人ホーム)入所者	対象とした数	616	人
		実際に 利用した数	750	人

活動の内容 (何を したか)	介護相談員が定期的に市内の特別養護老人ホームを訪問し、入所者と会話や相談を行う一方、施設との橋渡しをすることにより、入所者の要望や疑問、不安や心配事に対応して、施設に働きかけるなど現場での解決と改善に努める。 ①相談員が、市内10ヶ所の特別養護老人ホームに週1回程度訪問し、入所者や施設職員と接する。 ②入所者から聴取した要望、疑問等について、その場で施設側に提起し、解決、改善を図る。 ③月1回、定例会を開催し、活動報告を行う。								
	活動実績	項目名	訪問回数	250 ----- 単位 回	項目名	相談・要望等件数	88 ----- 単位 件	項目名	解決・改善件数

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,054	737	5,434	16.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	解決・改善率	解決・改善件数÷相談・要望等件数	50 ----- 単位 %	42 ----- 単位 %	84.0 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了	
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課コード 040700 Tel. 2998-9420
事業コード 040706	介護相談員派遣事業	
開始年度 平成 15 年度 → 終了年度 平成 年度		部課 保健福祉部 介護保険課
		グループ 管理担当

②事業の概要	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針 所沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	介護相談員派遣事業実施要綱、介護保険法
	関連・類似事業 高齢者みまもり相談員事業(高齢者支援課)	
	総合計画の体系 政策 第3章 豊かになで健やかに暮らせる支え合いのまち 施策 5節 社会保障 中柱 4 介護保険制度の充実 小柱 (2)介護サービスの充実	
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 3 位 実施計画における位置づけ… H19 A H20 A	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	
	コード 1211 新たな地域コミュニティの構築	コード
	事業開始の背景 介護保険制度が導入されたことにより、それまで行政の措置により一方的に供給されていた施設サービスが、利用者の選択に基づく契約により提供されるようになったため、同サービスの品質確保と向上が課題となった。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 施設サービス利用の現場での苦情や問題を未然に防止するとともに、同サービスの品質の確保と向上を図る。																				
	対象(誰を、何を対象としているのか) 市内介護保険施設(特別養護老人ホーム)入所者																				
	利用数の考え方 相談を受けた延べ人数																				
	<table border="1"> <tr> <th>対象数</th> <th>単位</th> <th>平成 18 年度</th> <th>526</th> <th>人</th> <th>利用数</th> <th>単位</th> <th>平成 18 年度</th> <th>888</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>平成 19 年度</th> <td>616</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <th>平成 19 年度</th> <td>750</td> <td>人</td> </tr> </table>	対象数	単位	平成 18 年度	526	人	利用数	単位	平成 18 年度	888	人			平成 19 年度	616	人			平成 19 年度	750	人
対象数	単位	平成 18 年度	526	人	利用数	単位	平成 18 年度	888	人												
		平成 19 年度	616	人			平成 19 年度	750	人												
	事業の具体的な内容及び実施方法 介護相談員が定期的に市内の特別養護老人ホームを訪問し、入所者と会話や相談を行う一方、施設との橋渡しをすることにより、入所者の要望や疑問、不安や心配事に対応して、施設に働きかけるなど現場での解決と改善に努める。																				
	①相談員が、市内10ヶ所の特別養護老人ホームに週1回程度訪問し、入所者や施設職員と接する。 ②入所者から聴取した要望、疑問等について、その場で施設側に提起し、解決、改善を図る。 ③月1回、定例会を開催し、活動報告を行う。																				

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >>
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点 介護相談員を公募により補充し、相談員が欠員となっていた施設に派遣した。 介護相談員のレベルアップを図るため、外部団体が実施している介護相談員研修に積極的に参加を呼びかけた結果、現任の相談員1名が参加した。

⑤経費	《会計種別》 介護保険特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算	1,152	1,054	988
	決算(見込み含む)	758	737	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)	
	正規職員人件費	0.55 人 5,060	0.50 人 4,697	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費			
	事業費合計	5,818	5,434	
	財源内訳			
	一般会計負担(正規職員人件費)	5,060	4,492	0
	介護保険料・介護基金繰入金	144	200	186
	国・県支出金、支払基金交付金	460	640	601
	一般会計繰入金	154	102	201
	その他			
	市民一人当たり(単位:円)	17.2	16.0	
	利用数一単位あたり(単位:円)	6,551.8	7,245.3	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	訪問回数	相談員の訪問回数	回	296	250	300	360
		相談・要望等件数	相談員が受付けた相談・要望等により施設への働きかけ、指摘等を行った件数	件	109	88	110	133
		解決・改善件数	解決・改善ができた件数	件	43	37	50	67
	成果分析	解決・改善率	解決・改善件数÷相談・要望等件数	%	目標値 50	50	50	50
			%	実績 39.4	42.0	実績値の拡大を図る1		
			%	達成率 78.8	84.0	実績値の縮小を図る2 1		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	本事業開始以来5年を経過し、各施設で改善を重ねてきたことから相談・要望件数も安定してきた。現在の課題としては、相談員の心身の負担と事業の活性化に向けた「担当施設の交代」、「定年制や委嘱年数の制限」等の導入を視野に入れ、制度の改善を図る必要がある。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	課題である担当施設の交代について、相談員や施設に対する意向調査等を実施し年度内には長期間、同じ相談員が担当している施設は交代とする。	同じ相談員が2年以上担当している施設のうち50%以上を目指す。	平成20年度内
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	介護保険施設サービスの質の確保・向上のために、介護相談員派遣事業は大変重要なものであり、継続して実施する必要がある。他市町村の状況から施設と保険者と相談員の3者会の実施、相談員に対する研修の充実や相談員の報酬についても検討していきたい。		
	評価日	平成20年 5月 7日	記入者職氏名	介護保険課長 石川幸一

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位… 1 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	事後評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
		予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標 <input checked="" type="checkbox"/>					
	評価理由	高齢化が進むことから、本事業の重要性は変わらない。このことから、今後も施設の改善に向け本事業の効果的運用を図らねばならない。なお、施設への訪問回数の見直しや施設担当の交代による視点の変更などにより、第4次所沢市総合計画・後期基本計画における目標達成に向けた様々な工夫に取り組むことは必要である。						
	評価日	9月1日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					